

平成21年度 屋外プールの水質実態調査

横浜市18区内の屋外プールにおける衛生管理状況の把握を目的として、屋外プールの水質実態調査を行いました。

1 対象施設および試料

(1) 対象施設: 屋外プール38施設

(2) 採水日: 平成21年7月21日から8月6日

(3) 試料: 大プール40面*¹、小プール36面*²、その他のプール(スライダープール)1面*³の計77面

*1 一般細菌は1面の中央および対角線両端の3試料、また、大腸菌、過マンガン酸カリウム消費量、濁度は1面1試料を採水

*2 全ての項目において1面1試料を採水

*3 規模に応じて採水箇所を増加



2 検査項目

(1) 福祉保健センター現場検査項目: 遊離残留塩素濃度(以下残留塩素)、pH、水温*⁴

(2) 衛生研究所検査項目: 過マンガン酸カリウム消費量、濁度、一般細菌、大腸菌

*4 水質基準に該当しない参考項目

3 検査方法

厚生労働省通知「遊泳用プールの衛生基準について」に定める方法に準じました。また、神奈川県水浴場等に関する条例施行規則が一部改正され、平成21年4月から水質基準項目の「大腸菌群」(LB-BGLB法)が「大腸菌」(特定酵素基質培地法)に変更になりました。

4 検査結果

検査結果を表に示しました。一般細菌、大腸菌、pH、過マンガン酸カリウム消費量および濁度については全てのプールについて基準に適合していました。しかし、残留塩素で基準不適合が認められ、基準超過(基準範囲外)であったプールは34面(大プール22面、小プール12面)でした。その内訳は0.4mg/L未満が13面(大プール12面、小プール1面)の16.9%、1.0mg/L以上が21面(大プール10面、小プール11面)の27.3%で、望ましい範囲(0.4mg/L以上1.0mg/L以下)にあったのは43面の55.8%でした。44.2%のプールは残留塩素濃度の調節が適当ではないことが分かりました。

表 屋外プール水質検査結果

検査項目	基準超過 (超過面数/検査面数)			水質基準
	大プール	小プール	その他	
遊離残留塩素	22/40	12/36	0/1	0.4mg/L以上 (1.0mg/L以下が望ましい)
	12/40	1/36		(0.4mg/L未満)
	10/40	11/36		(1.0mg/L超過)
一般細菌	0/40	0/36	0/1	200cfu/mL以下であること
大腸菌	0/40	0/36	0/1	検出されないこと
pH	0/40	0/36	0/1	5.8以上8.6以下であること
過マンガン酸カリウム消費量	0/40	0/36	0/1	12mg/L以下であること
濁度	0/40	0/36	0/1	2度以下であること

【 水質担当 】